

大和郡山市子ども読書活動推進連絡会のまとめ (平成27年度から平成29年度まで)と「提言」



「一冊の本との出会いで

人が育つ 心が育つ・・・」

平成31年4月

大和郡山市教育委員会

大和郡山市子ども読書活動推進連絡会のまとめ

(平成27年度から平成29年度まで)

大和郡山市では、平成19年3月に策定いたしました「大和郡山市子ども読書活動推進計画」に基づき、この計画を実践するため「大和郡山市子ども読書活動推進委員会」を立ち上げ、平成19年度から26年度までの8カ年に渡り、本市の子どもたちが、身近に読書に親しむ環境作りを目指し、様々な活動を展開してまいりました。

この活動の成果と課題は、平成24年3月『大和郡山市子ども読書活動推進報告書』及び平成27年3月『大和郡山市子ども読書推進計画のまとめ』（平成24年度から平成26年度まで）にまとめ、市教育委員会、社会教育委員会をはじめ、関係各機関、学校・園などへ配付いたしました。

平成27年度からは改めて『大和郡山市子ども読書推進計画のまとめ』7頁の「さいごに、」で提言いただいたとおり「大和郡山市子ども読書推進連絡会」（以下「連絡会」）を立ち上げ、活動を継続しました。その結果、特に当初からの課題であった学校司書の配置について、図書館から司書を派遣し、中学校の学校図書館の支援を行うことで、課題解決に向けて一歩進みだしたところです。しかしながら、学校司書の全校配置をはじめ解決すべき課題はまだ残っていることから、更なる課題解決に向けて引き続き活動を継続させるため、これまでの活動のまとめと今後に向けての方針をまとめました。

「連絡会」の活動

「連絡会」には、元図書館長を座長に教育総務課、学校教育課、中央公民館、子ども福祉課、保健センター、学校図書館部会、幼稚園会、保育園会と図書館ボランティア、読書活動ボランティアグループが参加し、これまでの活動の継続と残された課題解決に向けて意見交換、情報交換等を行ったほか、学校で活動するボランティアの情報交換会を再開し、学校ボランティア活動する上での悩みや課題なども共有することができました。

学校司書の配置と活動の成果を「学校司書だよりダイジェスト」としてまとめました。

学校司書だよりダイジェスト

平成 28 年 9 月～平成 29 年度末

平成 28 年度より、大和郡山市の新しい施策として中学校への1名の学校司書配置が始まりました。

■郡山東中学校での活動（H28 6/22～8/31）

☆調べ学習支援・・・先生からの依頼で、必要な本を集めて支援しました。

- ・2年生国語「短歌を調べて絵を描く」市立図書館からも資料を集めて提供しました。
- ・保健室「タバコの害について」ポスターと資料で展示コーナーを設営しました。

☆読書感想文対策・・・読書感想文用に『中学生が主人公』

『部活にがんばる君に』『映画、ドラマになった本』

『ノンフィクション』で本を集めて展示しました。

☆蔵書点検・・・必要な時に必要な資料を提供できるようにします。

除籍本候補を抜き出して空き教室に移動し、整理、背ラベルの書き直し。

1冊づつバーコードを読み取り、図書室システムで

照合する作業を行い、蔵書を確定します。

→システムチェック側とスキャン側に

わかれて作業中...

アートクリエイト部のみなさんも

手伝ってくれました！



分類のサインも、先生方、生徒さんの協力のもと、完成しました！！



■プロバスケットチーム バンビシャス奈良応援展 巡回展示(H28 秋～冬)■■■



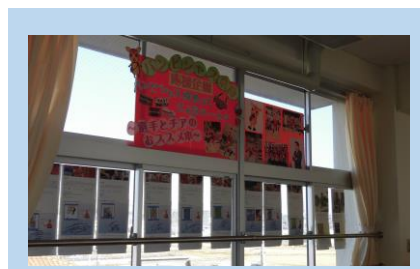
@東中での様子

8月～9月、市立図書館では「バンビシャス応援展」を開催していました。
これは、プロバスケットチームバンビシャス奈良の選手、チア、MCの皆さんの
それぞれのおすすめ本の紹介と本、写真、プロフィール、サインをチームから
お借りした横断幕やマスコットと一緒に展示したものです。

図書館での展示終了後、それらのセットを、郡山東中学校→郡山中学校→郡山西中学校→学科指導教室【ASU】へと巡回しています。先生の情報でチアの中に東中卒業生がいることが分かるなど、思わぬ発見がありました。



@西中での様子



[illegible]

1月に、近代文学の初版本の展示の応援依頼がありました。

今回は、夏目漱石、芥川龍之介、森鷗外、太宰治、宮沢賢治などの作品を展示しました。

布張りの装丁やペーパーナイフで切り開きながら読むアンカット本を手にする機会は、滅多にない貴重な体験です。夏目漱石は生誕150年の節目の年で、アニメの「文豪ストレイドッグス」やゲーム「文豪とアルケミスト」の影響もあり、静かな文豪ブームです。



生徒はもちろん、先生方や保護者にも喜ばれました。また、朝日新聞からの取材で、4月14日の朝刊に掲載されました。

■郡山南中学校 蔵書点検(H29 7月~8月)■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■



司書配置にあたり、蔵書点検を行いました。

- ① 除籍本候補を抜き出し、先生方に必要な本を戻してもらう。
- ② バーコードをスキャンし、図書室システムの蔵書を突合する。
- ③ バーコードのない本、データの間違った本を抜き出す。
- ④ バーコードと背ラベルを貼り付け、データ入力を行う。

↑除籍本候補。古すぎて使えないものを中心に。

郡山南中学校は今年 3 月に図書室のシステムを入替え、最新バージョンが入っています。そのため、データ入力は早いのですが、バーコードや背ラベルの貼り付けなどの作業は人海戦術にならざるを得ません。そこで、地元筒井小学校の図書室ボランティア「つづら」に呼びかけたところ、協力していただけることになり、真夏の暑いさなか、連日作業に来てくださいました。

書誌データ(書名、著者名、出版社、出版年などが入ったデータ。貸出・返却・予約・所蔵確認などに使用する)の確認・修正を含め、作業の必要な資料は約 5000 冊。当面は週 3 日の配置とし、作業を進めていきます。



■郡山中学校 夏休み作業(H29 8/9~18)■

郡山中学校では、昨年8月に図書室の大改造を、今年3月に蔵書点検をされています。

その結果、バーコードがないもの、書誌データが入っていないものなど、何らかの作業が必要な資料が1000冊程度見つかりました。そこで、1学期から用意をすすめ、夏休みに作業を行いました。



書店組合の協力で、図書室のシステムに未所蔵資料の書誌データをダウンロードし、このデータを図書に割り当てました。イチから書誌データを入力するのは時間のかかる作業ですが、一時的に確保されたインターネット環境を使ってダウンロードを行ったおかげで一気にスピードアップ！1000冊の資料が相当片付きました。ボランティアの皆さんも、作業に入ってくださいました。

司書が１名→２名になったことの効果があらわれていますが、学校司書を活用される学校、時間数も増えており十分に応えられていない状態です。配置時間の増加を求める声も寄せられています。

7

新たな取り組みとして

1. ビブリオバトル※の開催

大和郡山市におけるビブリオバトルは、「大和郡山ビブリオ」が主催し、2014年11月22日より隔月で開催。会場に居合わせた人にも参加していただくために、市立図書館をはじめ、ジャパンプックス郡山店等複数の会場で実施。2017年度からは、毎年市立図書館で行う奈良県立郡山高等学校図書委員を対象にした研修にも取り入れられている。また、2018年度11月には図書館で入門講座を行うなどして、その普及に努めているところである。

※ビブリオバトルとは、「バトラー」と呼ばれる発表者がテーマに沿って選んだ本について5分間のプレゼンテーションを行い、その日発表された複数の本の中から観覧者が一番読みたくなった本を選ぶという、本に親しむゲーム。「知的書評合戦」とも言われている。京都大学で発祥し、現在では大学のほか、高校や図書館、社会人有志でも楽しまれ、生駒市では毎年全国大会も行われている。

2. 選書会の開催

学校図書館の図書購入について、児童書の出版社、書店組合の協力で実際の本を手にとって選書できる選書会を開催。学校図書館担当の先生方や学校に関わるボランティアも参加するなど、学校図書館の蔵書の充実に努めた。

3. 図書館司書の育成

図書館配属職員が司書資格を取得。市立図書館の体制を強化する。

4. 地区公民館と小学校の連携のひろがり

平和小学校及び治道小学校で地区公民館への訪問活動を実施

まとめと提言

これまで、子ども読書活動として、保健センターでのブックスタート事業をはじめ、幼稚園・保育園での絵本の貸出や読み聞かせ、「ぴよぴよ絵本ひろば」、「あさどく」や「うちどく」、「えほんひろば」などの活動をすすめてまいりました。また、図書館での読み聞かせやかみしばい、小学校へ出張ブックトーク、オリエンテーションや学校図書館の図書購入のための予算の確保、中学校での学校司書の配置など、様々な活動を通じ、子どもたちが身近に読書に親しむことができる環境づくりを目指してきました。

そこで、これまでの活動状況について、主な活動の評価をまとめました。

	担当部署など	事業名	主な活動	評価	課題	施策
0歳～未就学児	保健センター	ブックスタート	12か月育児相談時に図書館から司書が来て絵本の紹介、手遊び、わらべ歌の紹介、図書館の利用案内を行う。	育児相談に来られる方のほとんどが参加		継続して実施
	図書館	はじめましてえほん・だっこでおはなし会	ブックスタートのフォローとして3歳児までを対象として、絵本の紹介や手遊びなどを行う。不定期に日曜日にも開催し、平日に来られない家族の参加を促す。	ブックスタートから連続して参加することができる。	普段来館できない家族が参加しやすいようにする。	開催日、時間の見直し。土・日祝日開催の増加
	子ども福祉課	ぴよぴよ絵本ひろば	新町、南井町児童館にて年各2回(計4回)、面展台を使って絵本を展示し、絵本に囲まれた中でボランティアの協力により読み聞かせ等を行う。	絵本に興味を持つように、展示方法を工夫している。	参加者を増やすためのPR不足	広報紙での周知。保健センター等、親子で訪れる施設でのポスター掲示による周知。
	幼稚園・保育園	絵本の貸出、読み聞かせ	各園の絵本コーナーを整備し、親子への貸出を行う。	親子で貸出することにより家庭での読書の推進につながる。また、小学校の図書コーナーを利用することにより小学校での図書館利用につながる。	養成に応じて、本を選ぶときに図書館より司書が来てアドバイスをしてもらえれば、さらに利用が広がる。また、職員もアドバイスができるようにする。	市立図書館との連携やボランティアの協力を得る。
6歳～12歳	小学校	学校図書館の活用	学校図書館の改造、授業等で図書館の資料の積極的な利用、オリエンテーションやブックトーク、絵本広場などの開催	図書館司書によるオリエンテーション、ブックトーク、団体貸出など、これまでから図書館との連携はある。	小規模な学校では人員が割けず図書館の改造等難しい。学校司書が配置されれば、蔵書管理、全校へのオリエンテーション、授業での利用など可能になる。学校図書館図書標準を満たす。	各校への学校司書の配置。図書購入費の確保。
13歳～15歳	中学校	学校図書館の活用	学校図書館の改造、蔵書の点検整理、授業等で図書館の資料の積極的な利用、オリエンテーションなど。	学校司書が配置されたことにより、学校図書館が活用されるようになり授業や行事の展示等で市立図書館の利用も増加している。	現在の配置状況では、学校司書との連携、意思疎通が十分とれていない。学校図書館を活用するためにも、学校司書の増員が求められる。学校図書館図書標準を満たす。	各校への学校司書の配置。図書購入費の確保。
16歳～18歳	高等学校	郡山高等学校図書委員の研修	年1回、図書委員の研修を市立図書館で行う。	ビブリオバトルや、レファレンスの研修などを行い図書館利用や読書への興味を促している。	事業として定着。さらに学校と市立図書館との連携を深めたい。	研修内容等学校と相談しながら継続して実施。
その他	各地区公民館	子ども達が身近に読書に触れることができる場所の提供	図書コーナーの整備。幼・保・学校との連携	平和・治道小学校での公民館利用	人材も含めた図書コーナーの整備・管理。	市立図書館やボランティアとの連携を探る。

この評価表の「課題」と「施策」では、特に子どもたちだけでなく保護者の方の本への興味を引くための手段として、図書館司書や読書に関わるボランティアからの専門的なアドバイス、小・中学校では、学校司書の配置が求められています。

そのほかにも、徒歩圏内で気軽に本に触れることができる場所づくりや学校図書館図書標準の達成などまだまだ残された課題があります。特に絵本から読み物へ子どもたちが自ら本を選び、読解力をつけていく過程での支援は、ICTを使った授業を理解し、使いこなしていく上でも重要です。新学習指導要領では、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。」とあります。

中学校図書館では、学校司書が支援することにより、蔵書の点検や整理、授業や行事に沿った展示などが行われています。学校司書が活動することにより、図書館から学校への団体貸出も大幅に増加しました。今後、更に学校図書館が有効に利用され、読書・学習・情報センターとしての機能も発揮されることと思われます。

そこで、子ども読書活動推進連絡会では、引き続き連携を強化し、活動を継続するとともに、現在中学校を中心に行っている学校図書館の支援を小学校へも拡大することを重点課題として、小学校・中学校全校に学校司書を配置することを提言します。

大和郡山市子ども読書活動推進連絡会のまとめ
(平成27年度から29年度まで) と「提言」

— 1冊の本との出会いで人が育つ 心が育つ・・・ —

発行日 平成31年4月

発行者 大和郡山市教育委員会
(事務局 大和郡山市立図書館)

〒639-1198

大和郡山市北郡山町2-4-8

TEL (0743) 53-1151